

古 往 今 来 発 車 オ ー ラ イ !

ANNIVERSARY
100th
KOMINATO
RAILWAY

小湊鉄道開業
100周年記念展
kominato railway

2025年4月26日「土」↓9月15日「月・祝」

中崎透

かこやとこ

市原湖畔美術館

千葉県
市原市
不入75-1

クワクボリヨウタ

青山悟

中野裕介／パラモデル

The 100th Anniversary of Kominato Railway
From the Past to the Present, and toward the Future

開館時間 平日 10:00→17:00 土曜・祝前日 9:30→19:00 日曜・祝日 9:30→18:00 ※入館は閉館30分前まで
休館日 月曜(祝日の場合、要平日) 入場料=一般 1,000(800)円/大高生・65歳以上 800(600)円 ※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方(または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示)とその介添者(1名)は無料

主催 市原湖畔美術館[指定管理者:(株)アートフロントギャラリー] 共催 小湊鉄道開業100周年記念実行委員会 協力 加古総合研究所、ミヅマアートギャラリー、MORI YU GALLERY、早稲田大学鉄道研究会、JR東日本五井駅

小湊鉄道開業100周年記念展

古往今来・発車オーライ!

2025年春、房総の里山を走る「地域の宝」小湊鉄道が開業100周年を迎えます。

1925年、沿線住民1000人が株主となって開業に至り、市原市北部と南部をつなぐ交通の要として地域の発展と人々の生活を支えてきた小湊鉄道。昭和の香りを色濃く残した駅舎や車両は人気のスポットであり、多くの鉄道ファンや地域の人たちに愛されてきました。この小湊鉄道の歴史や魅力をアートによって照らし出し、過去から現在、そして未来へとつなげる展覧会「古往今来・発車オーライ!」を開催します。

展示作品

～4人の現代アーティストたちが光を当てる小湊鉄道の古往今来～

1 モノと語りを通して、小湊鉄道をめぐる 知られざる物語を体感する

中崎 透



参考画像《Clothing Fills in the Sky》
2021年 撮影||中村脩

“言葉”と“イメージ”の「ズレ」をテーマにしたユニークな作品で知られる中崎透。小湊鉄道社員や地域住民のインタビューにもとづくインスタレーションを、美術館内と高滝駅から美術館までの道のりに展開。鉄道と交差するそれぞれの人生が紡がれていく。

3 影と光で映し出す 時空を超えた小湊鉄道の旅

クワクポリョウタ

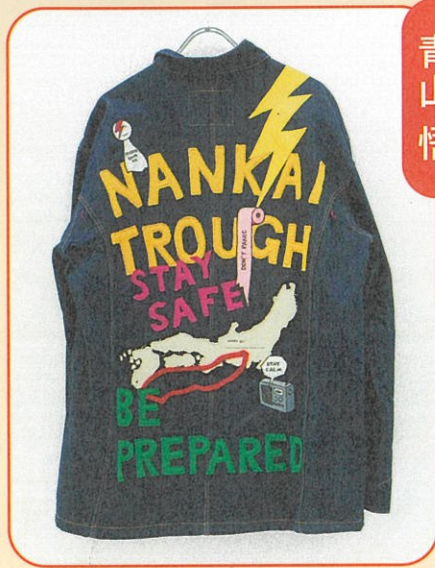


参考画像《Lost #6》2012年 撮影||中村脩

デジタルとアナログの境界で創造の可能性を問い、光源をつけた鉄道模型を使用した光と影のインスタレーションで知られるクワクポリョウタは、100年前、現在、そして100年後の風景を現出し、無限(∞)のレールを走る小湊鉄道の時空を超えた旅を体感させる。

2

過去と未来をつなぐ
鉄道鳥瞰図



青山 悟

参考画像《南海トラフジャケット》
2024年 撮影||宮島径

工業用ミシンを使い刺繍というメディアの枠を拡張してきた青山悟。小湊鉄道の鳥瞰図からインスピレーションを受けた未来の鳥瞰図を市内の子どもたちと制作。また、近代化を生きた小湊鉄道の100年の歴史に刻まれた「労働」を切り取った刺繍作品を展示する。

4 小湊鉄道を起点に交差する時空間

中野裕介／パラモデル



参考画像 個展「よろぼう少年、あなたの道をゆくマワマ」
《俊徳丸伝説》であそぶ 2024年 撮影||高野友実

古今の書物を横断し題材とした創作を続ける中野裕介／パラモデル。小湊鉄道の幻の路線計画や、房総由来の戯作『南総里見八犬伝』、高滝エリアの旧開発構想など、虚実の出来事を組み合わせ、工事用シートやプラレール、映像や音で遊ぶ大規模なインスタレーションを展開する。



←企画展に関する最新情報はこちら

小湊鉄道とは

小湊鉄道は、房総の玄関口・千葉県市原市五井駅から内陸部の上総中野駅までの39.1kmを縦断するローカル鉄道です。沿線には高滝湖、チバニアン、養老溪谷等の観光スポットもあります。小湊鉄道株式会社は1917年、地元有志によって設立され、現在は路線バス・高速バス・タクシー・ゴルフ場やカフェ等も展開、創業当時から受け継がれる「近くの人を喜ばせたい」という心を次の100年に繋げるため、沿線の方々との交流や里山保全等、地域活性化にも取り組んでいます。



関連展示

かこさとしが描いた絵本

『小湊鉄道沿線の旅 出発進行! 里山トロッコ列車』原画公開!

「里山の風景を守る」「自然との共存」という想いから始まった小湊鉄道のトロッコ列車。日本を代表する絵本作家かこさとしさんがその想いに共感して描いた『小湊鉄道沿線の旅 出発進行! 里山トロッコ列車』(偕成社)の原画約20点を展示。工学博士でもあったかこさんが小湊鉄道の歴史、地理、自然を紹介しています。



幻の小湊鉄道鳥瞰図



かこさとし

絵本『小湊鉄道沿線の旅 出発進行! 里山トロッコ列車』より

小湊鉄道大解剖!! 過去と現在をつなぐ資料展示

小湊鉄道の備品や歴史的資料、鉄道写真から映像まで貴重な資料を一挙に公開。小湊鉄道ファンも初めて知る方も小湊鉄道の魅力を感じられる展示です。(展示協力:市原歴史博物館、早稲田大学鉄道研究会)

イベント情報

◎各イベントは事前申込が必要です。美術館HPからお申込みください。

小湊鉄道井戸端会議!

2025年5月17日[土] 18~20時 会場=当館、PIZZERIA BOSSO 市原店
●ゲスト・講師=伊藤桃(鉄旅タレント)、石川晋平(小湊鉄道代表取締役社長)、小湊鉄道社員 ●定員25名 参加費 6000円(入館料込)

本展ツアー後に、隣接するレストラン棟で、房総半島の食材をふんだんに使ったイタリアンを食べながら、小湊鉄道社員と「小湊鉄道のこれからの100年」を考えよう。鉄旅タレント・伊藤桃さんが特別参加!

「青いラインで、ふしぎな《高滝》の地図をひろげよう」

2025年4月26日[土] 13~14時30分 会場=当館

●講師=中野裕介/パラモデル(出展作家)
●定員15名 ●参加無料(入館料別途)

アーティストの中野裕介/パラモデルさんによるワークショップ。プラレールをたくさんつなぎ合わせ、小湊鉄道の幻の線路、空想の養老川や高滝湖の、はてのないマップをつくってみよう。

レクチャー「なぜ『小湊鉄道』なのか？」

2025年6月7日[土] 13~14時30分 会場=当館多目的ホール

●講師=原武史(政治学者) ●定員30名 ●参加費 1000円(入館料別途)

長年の鉄道ファンで、日本近代史における鉄道をめぐる著書多数の原武史さんをお迎えし、小湊鉄道を出発点に、房総の歴史とそこに秘められた謎の数々を解き明かしていただきます。

「高滝駅発一美術館着 Walking Tour」

2025年5月18日[日]、31日[土] 12~13時 集合=高滝駅

●各回10名 ●参加無料

高滝駅から美術館までの徒歩20分の道のりに出展アーティスト中崎透が展開した作品を巡るツアー。ツアーでは高滝駅に併設されている小湊鉄道の倉庫を特別公開。

湖畔とピクニックとマルシェ (主催:千の風パレード)

2025年4月26日[土]、5月24日[土]、6月28日[土] 10~15時

会場=当館芝生広場 ●入場無料

美術館芝生広場にてピクニックができるマルシェを開催。千葉県内から集結した出店者によるこだわりのパンやお弁当、コーヒー、お菓子などの食や魅力的な雑貨などをお楽しみください。

機関庫見学 2025年5月・8月開催 (主催:小湊鉄道株式会社)

会場=五井機関区(市原市五井中央東1-1-2) ●各回20名

普段は見られない五井機関庫に入る事のできる特別見学会を開催。当日は小湊鉄道現役社員による解説も予定しています。

運転体験 2025年7月または8月 (主催:小湊鉄道株式会社)

会場=五井機関区(市原市五井中央東1-1-2) ●定員20名

今では珍しい気動車の運転体験を開催。運転手になりきろう。

詳細は下記QRコードよりご確認ください



小湊鉄道沿線・上総牛久～里見エリアを楽しもう！

① 上総牛久駅
市原市牛久897-2



② 牛久商店街
市原市牛久879-2



③ 高滝駅
市原市高滝737-2



④ 高滝ダム記念館 (レストラン併設)
市原市養老467



⑤ 高滝湖グランピングリゾート
市原市養老1012-1



⑥ 市原ぞうの国
市原市山小川937



⑦ 星野農園 (カフェ営業)
市原市大和田29-1



⑧ 鶴舞バスターミナル
(東京・横浜方面の高速バス有) 市原市田尾280



⑨ 里見駅
(8/16,17を除く土日「喜動房倶楽部」による物販有)
市原市平野176-1



⑩ 飯給駅
(藤本壮介の作品《Toilet in Nature》が隣接)
市原市飯給943-3



⑪ SATOMI (旧里見小学校、恒久作品有)
市原市徳氏541



◎各拠点・施設の営業についてや問合せは
QRコードからご確認ください。



SATOMI 紹介

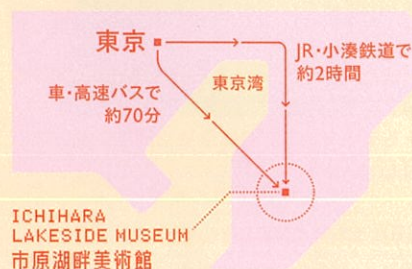
ここでも小湊鉄道作品に出会える！

- 営業日 5/4,5 7/20,21 8/10,11 9/14,15
- 営業時間 11:00～16:00 ●入場無料

旧里見小学校[SATOMI]は廃校になった小学校を改装したアートフィールド。体育館で展開される工場夜景をテーマとした「里見プラントミュージアム」にはアーティストによる小湊鉄道を使った作品も。併設されたカフェ「里見Bus停」では焼きたてソーセージやいちごみるく(期間限定)をご提供。バスの中で楽しんでいただけます。
(※メニューは季節によって変更します)



交通アクセス



《鉄道で》

JR内房線 五井駅

小湊鉄道乗換え
↓ 約40分

小湊鉄道 高滝駅

徒歩 ↓ 20分
タクシー ↓ 5分

市原湖畔美術館

《車で》

東京湾アクアライン

川崎浮島JCT
↓ 約40分

圏央道(成原方面)

市原鶴舞IC
出口左折
約5分

市原湖畔美術館

館山道

市原IC
国道297号線
約35分

市原湖畔美術館

《バスで》

バスターミナル東京八重洲

東京・勝浦線
11番のりば
↓ 約60分

市原鶴舞バスターミナル

タクシー
↓ 約5分(約3km)

市原湖畔美術館

横浜駅/羽田空港

横浜駅東口ターミナル/
羽田空港 第1第2ターミナル
一茂原線
↓ 横浜駅より 約80分
羽田空港より 約50分

【周遊バス】一部連休期間、高滝湖周辺エリアを巡回する周遊バスが運行予定です。
◎運行ルート・時刻表は美術館HPよりご確認ください。

【お問合せ】Tel: 0436-98-1525
E-mail: info@ism-ichihara.jp <https://ism-ichihara.jp/>

